

令和5年度ネットリサーチ「人権意識」に関する調査結果報告書

■結果のポイント

- 「人権」が大切だと思うかについては、「そう思う」(56.0%)と「少しそう思う」(29.8%)を合わせた【そう思う】が85.8%となっている。一方で、「あまりそう思わない」(2.0%)と「そう思わない」(1.1%)を合わせた【そう思わない】が3.1%となっている。
- 人権を意識した行動については、「いつも意識している」(25.5%)と「ときどき意識している」(39.0%)を合わせた【意識している】が64.5%となっている。一方で、「あまり意識していない」(11.3%)と「いつも意識していない」(3.2%)を合わせた【意識していない】が14.5%となっている。

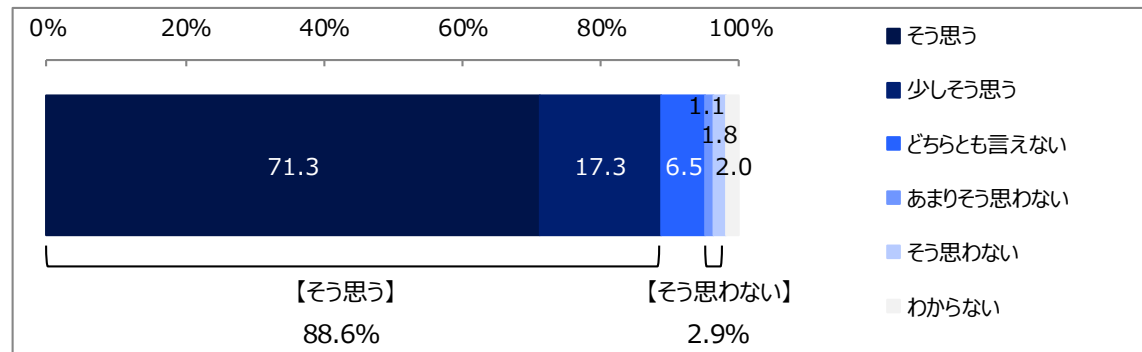
■調査結果の概要

1 「人を思いやる心」の大切さについて

- ◇ 「そう思う」(71.3%)と「少しそう思う」(17.3%)を合わせた【そう思う】が88.6%となっている。
- ◇ 一方で、「あまりそう思わない」(1.1%)と「そう思わない」(1.8%)を合わせた【そう思わない】が2.9%となっている。

Q1-1.あなたは、日常生活の中で、「人を思いやる心」は大切だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
そう思う	71.3	713
少しそう思う	17.3	173
どちらとも言えない	6.5	65
あまりそう思わない	1.1	11
そう思わない	1.8	18
わからない	2.0	20



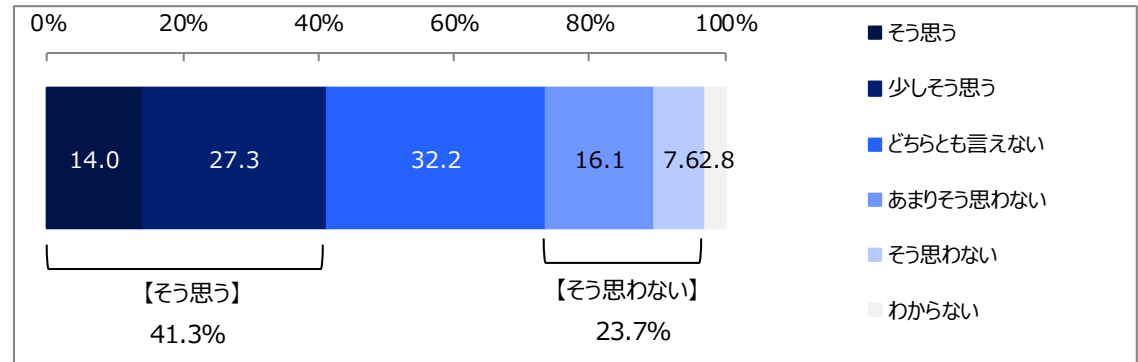
2 「人権」が尊重されている社会について

◇ 「そう思う」(14.0%)と「少しそう思う」(27.3%)を合わせた【そう思う】が41.3%となっている。

◇ 一方で、「あまりそう思わない」(16.1%)と「そう思わない」(7.6%)を合わせた【そう思わない】が23.7%となっている。

Q1-2.あなたは、今の日本は、「人権」※が尊重されている社会だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
そう思う	14.0	140
少しそう思う	27.3	273
どちらとも言えない	32.2	322
あまりそう思わない	16.1	161
そう思わない	7.6	76
わからない	2.8	28



※「人権」とは、「人が人らしく生きていくために社会によって認められている権利」であり、誰もが生まれながらにして持っている、誰からも侵されることのない基本的権利のことです。

詳しくは、こちらをご覧ください。 茨城県HP：<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/fukushi/jinken/koshi/jinken/index.html>

(「お知らせ」下に表記されている「人権とは…」をご確認ください)

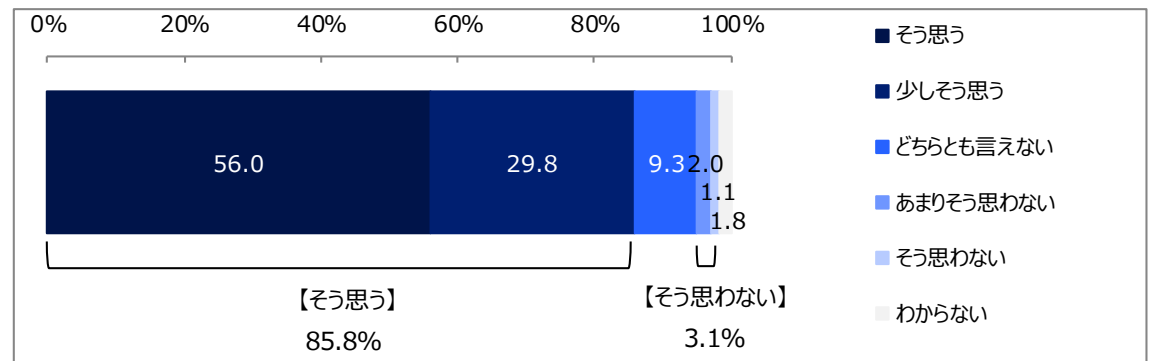
3 「人権」の大切さについて

◇ 「そう思う」(56.0%)と「少しそう思う」(29.8%)を合わせた【そう思う】が85.8%となっている。

◇ 一方で、「あまりそう思わない」(2.0%)と「そう思わない」(1.1%)を合わせた【そう思わない】が3.1%となっている。

Q1-3.あなたは、日常生活の中で「人権」が大切だと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
そう思う	56.0	560
少しそう思う	29.8	298
どちらとも言えない	9.3	93
あまりそう思わない	2.0	20
そう思わない	1.1	11
わからない	1.8	18



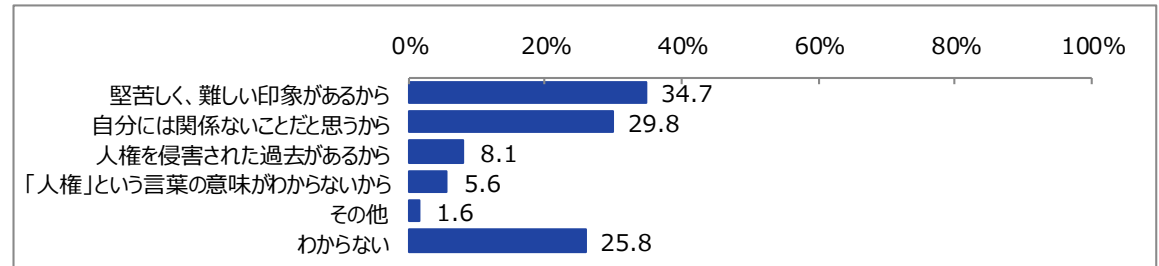
4 人権が大切だと思わない理由

◇ 「堅苦しく、難しい印象があるから」が34.7%で最も高く、「自分には関係ないことだと思うから」が29.8%と続く。

(Q1-3で「どちらとも言えない」「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答された方へ)

Q1-4. そのように回答された主な理由はなんですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	124
堅苦しく、難しい印象があるから	34.7	43
自分には関係ないことだと思うから	29.8	37
人権を侵害された過去があるから	8.1	10
「人権」という言葉の意味がわからないから	5.6	7
その他	1.6	2
わからない	25.8	32



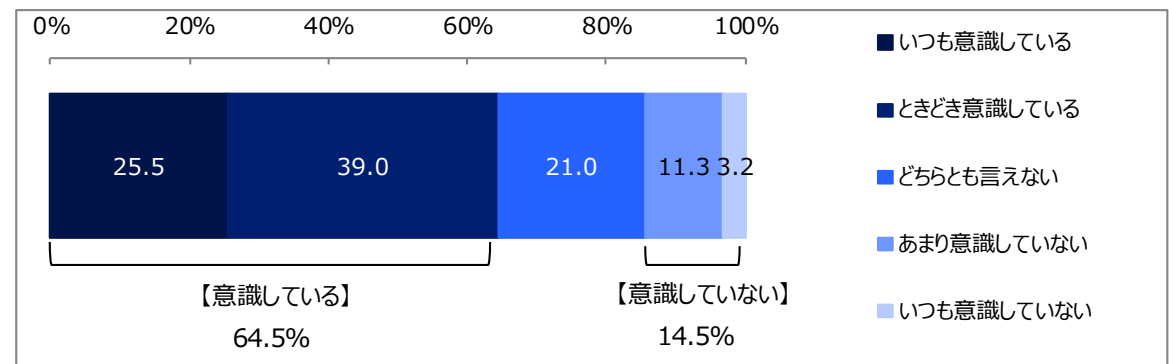
5 人権を意識した行動

◇ 「いつも意識している」(25.5%)と「ときどき意識している」(39.0%)を合わせた【意識している】が64.5%となっている。

◇ 一方で、「あまり意識していない」(11.3%)と「いつも意識していない」(3.2%)を合わせた【意識していない】が14.5%となっている。

Q1-5. あなたは、日頃他人の立場を尊重するなど「人権」を意識しながら行動していますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
いつも意識している	25.5	255
ときどき意識している	39.0	390
どちらとも言えない	21.0	210
あまり意識していない	11.3	113
いつも意識していない	3.2	32



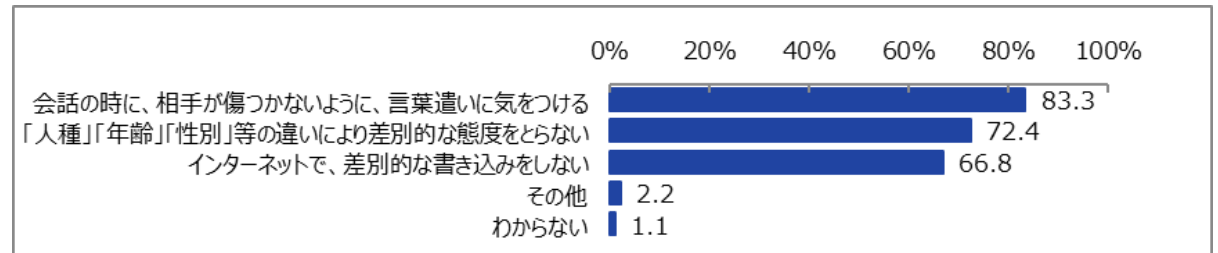
6 「人権」が尊重される社会を実現するための行動

- ◇ 「会話の時に、相手が傷つかないように、言葉遣いに気をつける」が83.3%で最も高く、「「人種」「年齢」「性別」等の違いにより差別的な態度をとらない」が72.4%と続く。

(Q1-5で「いつも意識している」「ときどき意識している」と回答された方へ)

Q1-6.あなたは、「人権」が尊重される社会を実現するために、どのような行動を心掛けていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	645
会話の時に、相手が傷つかないように、言葉遣いに気をつける	83.3	537
「人種」「年齢」「性別」等の違いにより差別的な態度をとらない	72.4	467
インターネットで、差別的な書き込みをしない	66.8	431
その他	2.2	14
わからない	1.1	7

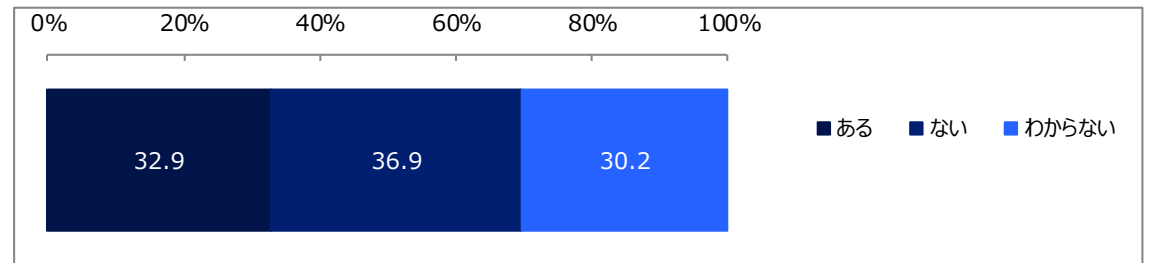


7 「人権」が侵害された経験

- ◇ 「ある」は32.9%となっている。一方で、「ない」は36.9%となっている。

Q1-7.あなたは、自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
ある	32.9	329
ない	36.9	369
わからない	30.2	302



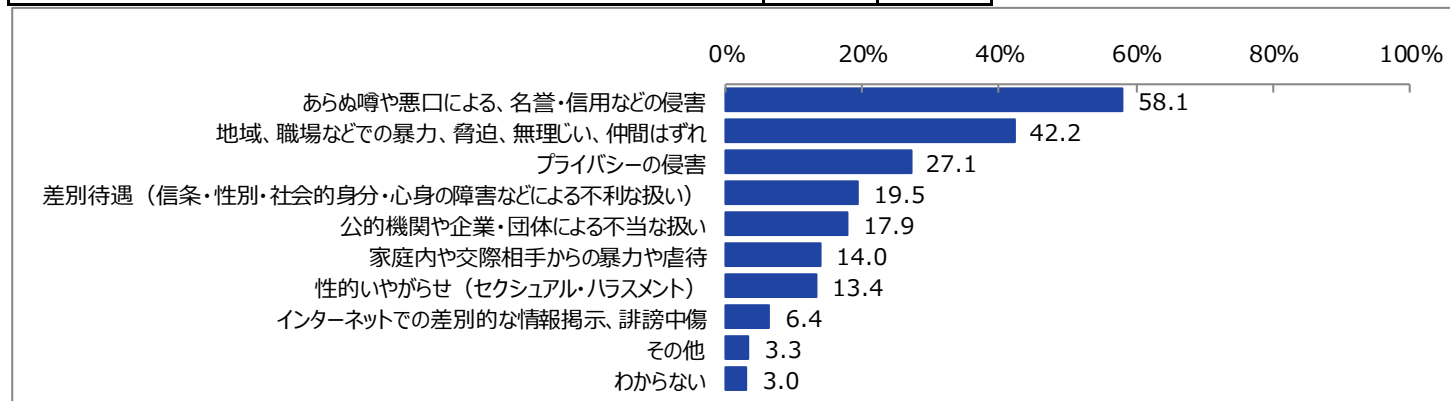
8 「人権」が侵害されたと感じた状況

◇ 「あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害」が58.1%で最も高く、「地域、職場などでの暴力、脅迫、無理じい、仲間はずれ」が42.2%と続く。

(Q1-7で「ある」と回答された方へ)

Q1-8.それはどのような場合ですか。差し支えがなければ、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	329
あらぬ噂や悪口による、名誉・信用などの侵害	58.1	191
地域、職場などでの暴力、脅迫、無理じい、仲間はずれ	42.2	139
プライバシーの侵害	27.1	89
差別待遇（信条・性別・社会的身分・心身の障害などによる不利な扱い）	19.5	64
公的機関や企業・団体による不当な扱い	17.9	59
家庭内や交際相手からの暴力や虐待	14.0	46
性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）	13.4	44
インターネットでの差別的な情報掲示、誹謗中傷	6.4	21
その他	3.3	11
わからない	3.0	10

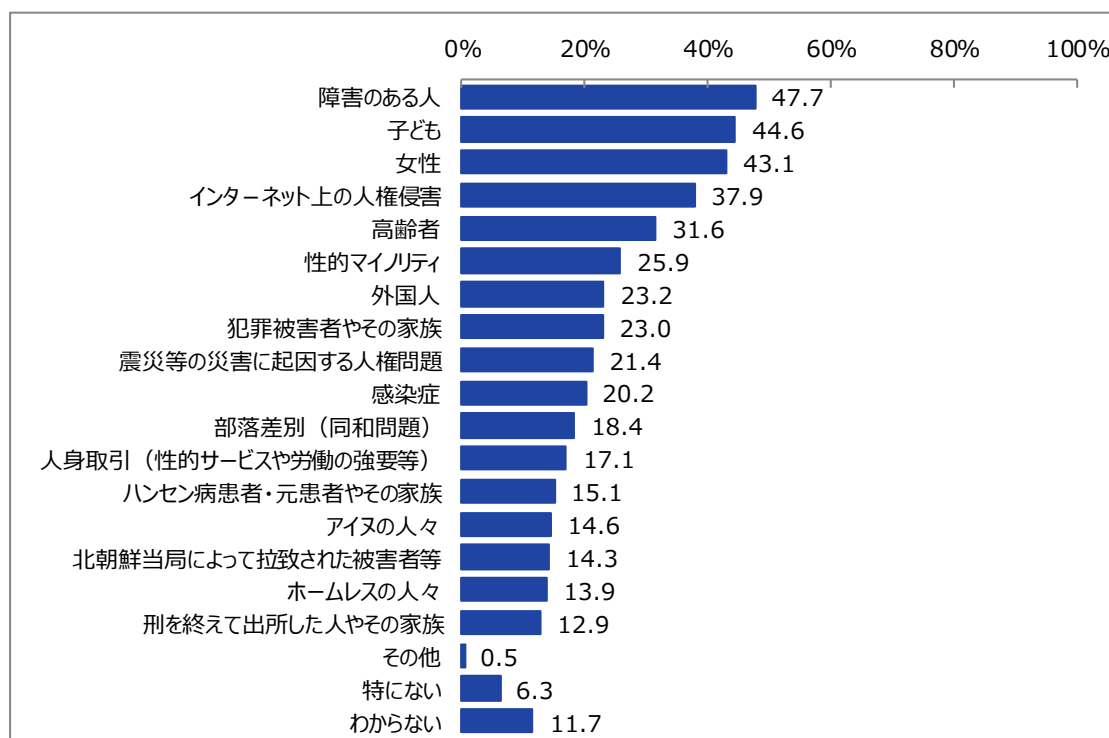


9 力を入れるべき人権の分野

◇ 「障害のある人」が47.7%で最も高く、「子ども」が44.6%と続く。

Q1-9.人権にはさまざまな分野がありますが、今後、どの分野に力を入れていくことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
障害のある人	47.7	477
子ども	44.6	446
女性	43.1	431
インターネット上の人権侵害	37.9	379
高齢者	31.6	316
性的マイノリティ	25.9	259
外国人	23.2	232
犯罪被害者やその家族	23.0	230
震災等の災害に起因する人権問題	21.4	214
感染症	20.2	202
部落差別（同和問題）	18.4	184
人身取引（性的サービスや労働の強要等）	17.1	171
ハンセン病患者・元患者やその家族	15.1	151
アイヌの人々	14.6	146
北朝鮮当局によって拉致された被害者等	14.3	143
ホームレスの人々	13.9	139
刑を終えて出所した人やその家族	12.9	129
その他	0.5	5
特にない	6.3	63
わからない	11.7	117

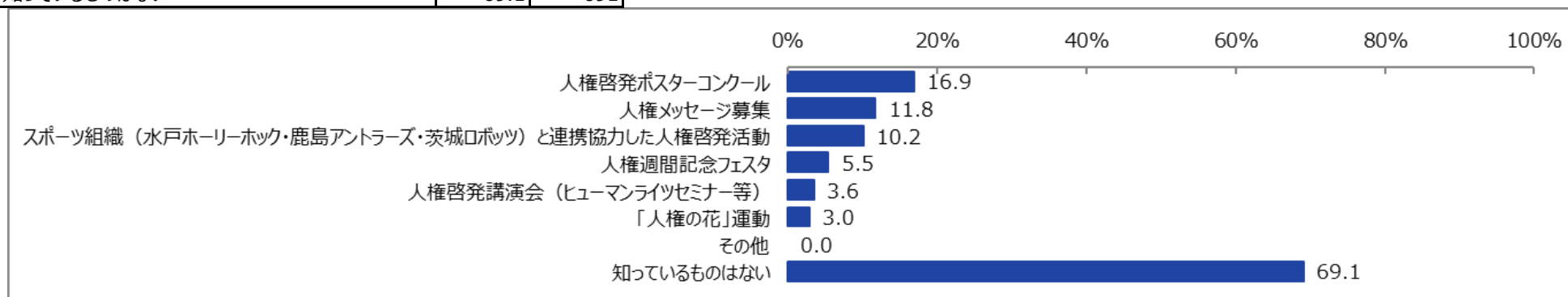


10 県が実施している人権啓発活動の認知度

◇ 「人権啓発ポスターコンクール」が16.9%で最も高く、「人権メッセージ募集」が11.8%と続く。

Q1-10.県が実施している人権啓発活動で、知っているものはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
人権啓発ポスターコンクール	16.9	169
人権メッセージ募集	11.8	118
スポーツ組織（水戸ホーリーホック・鹿島アントラーズ・茨城ロボッツ）と連携協力した人権啓発活動	10.2	102
人権週間記念フェスタ	5.5	55
人権啓発講演会（ヒューマンライツセミナー等）	3.6	36
「人権の花」運動	3.0	30
その他	0.0	0
知っているものはない	69.1	691



■調査の目的

定期的な調査の実施により、県民の「人権」に対する意識や人権問題への認識の推移を把握する。また、調査結果を以下の施策に活用する。

- ①前回調査時点からの人権施策の成果を確認する。
- ②人権問題に関する課題・ニーズを明らかにし、より効果的な啓発手段を考察する。
- ③今後の人権教育・啓発活動の推進に役立てるとともに、第二次茨城県総合計画数値目標の一つである「7 1. 人権は大切であると感じている県民の割合」の向上につなげる。

■実施概要

- ・実施期間：令和5年7月7日～7月14日
- ・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和5年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		114	245	94	359	188	1,000
性別	男性	59	125	50	185	99	518
	女性	55	120	44	174	89	482
年代別	18～29歳	18	41	16	68	33	176
	30歳代	17	42	16	62	30	167
	40歳代	23	55	21	83	41	223
	50歳代	28	57	21	79	42	227
	60歳代	28	50	20	67	42	207

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。